

さむけ

鼻水

のどの痛み

発熱

頭痛

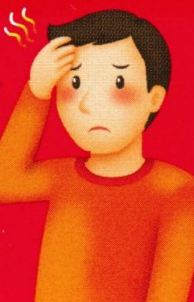
かぜの初期症状に

葛根湯

眠くなる成分を含まない

液体かぜ薬

東亜葛根湯かぜ内服液



30mL×3本

(3回分)

第2類医薬品

液体のかぜ薬

[葛根湯濃縮液製剤]

第2類医薬品

販売名: 東亜葛根湯かぜ内服液

ケースは本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください。

△【使用上の注意】

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)
短期間の服用にとどめ、連用しないでください。

☞ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。(4)胃腸の弱い人。(5)発汗傾向の著しい人。(6)高齢者。(7)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。(8)次の症状のある人。むくみ、排尿困難(9)次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、このケースを持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、このケースを持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【用法・用量】

次の量を、食間によく振ってから服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1本	3回
15歳未満	服用しないでください	

(注) 食間とは「食事と食事の間」のことで、たとえば朝食と昼食の間のこととをさします。食事中に服用するということではありません。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を厳守してください。
(2)本剤は、本質的に沈殿を含んでいますので、服用前によく振ってから服用してください。

【保管及び取り扱い上の注意】

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)配置期限(ケース及びビンラベルに記載)を過ぎた製品は服用しないでください。(5)ピンをあけたら飲みきってください。(6)ピンをあけたまま保存しないでください。

【お問い合わせ先】

東亜薬品株式会社 お客様くすり相談室
電話番号 076-478-5580
受付時間 9:00~16:00(土・日・祝祭日を除く)

発売元 東亜薬品株式会社
富山県富山市水橋開発277番10

製造販売元 新生薬品工業株式会社
奈良県高市郡高取町清水谷1269

30mL×3本

かぜの初期症状に

【効能・効果】

かぜの初期の諸症状(発熱、寒け、頭痛、肩・首筋のこわばり、鼻閉、鼻水、のどの痛み)

【成分・分量】

本品1日量 90mL(30mL×3本)中
葛根湯濃縮液(下記生薬の水製抽出液)81mL

日局カクコン	8g
日局マオウ	4g
日局タイソウ	4g
日局ケイヒ	3g
日局シャクヤク	3g
日局カンゾウ	2g
日局ショウキョウ	1g

添加物: D-ソルビトール、白糖、安息香酸ナトリウム、バラベン、香料

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

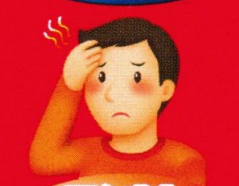


30mL×3本

かぜの初期症状に



さむけ



発熱



鼻水